

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する対応について

1 公式練習会場

文京スポーツセンター（公式練習会場）の使用について、組織委員会及び競技団体等と協議を進め、使用協定を締結する。

＜ハンドボール競技＞

令和2年 3月 使用協定締結（予定）

7月～8月 公式練習会場使用

＜パラリンピックバドミントン競技＞

令和2年 3月 使用協定締結（予定）

8月～9月 公式練習会場使用

※期間前後に設営及び撤去工事を実施予定

2 聖火リレー

聖火リレーの感動を多くの区民が実感できるよう、都聖火リレー実行委員会とミニセレブレーションについて調整するとともに、区主催の事後プログラムについて企画・検討を進める。

＜スケジュール＞

令和元年 12月以降 聖火リレールート・聖火ランナー発表

令和2年 7月 21日 文京区聖火リレー（ミニセレブレーション、事後プログラム）

3 区独自ボランティア

東京 2020 大会に一人でも多くの区民が携われるよう、文京区聖火リレー及びオリンピック・パラリンピック選手との交流等、区独自のボランティア活動について検討を進める。

＜スケジュール＞

令和2年 2月～ ボランティア概要公表

4月～6月 ボランティア募集、説明会開催

7月 21日 文京区聖火リレーボランティアとして従事

7月～9月 区独自ボランティアとして従事

4 シティドレッシング（都市装飾）

東京 2020 大会への気運醸成事業として、本年8月よりオリ・パラマスケットをラッピングしたBーぐるの運行に加え、シビックセンター内及びシビックセンター周辺のシティドレッシングを行う。

＜スケジュール＞

令和元年 12月～ シビックセンター礪川公園口外壁及び1階エントランス部分を装飾

令和2年 5月～ シビックセンター周辺をサインボード・フラッグ等で装飾